

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
飯塚市	川津・相田地区	令和4年3月29日	令和4年3月29日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	56.3 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	32.7 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	4.1 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	2.4 ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	6.0 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢で農地管理が困難になってしまっている農家もある。 ・耕作条件の悪い農地は、将来的に荒廃農地(耕作放棄地)になる可能性が高い。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や農業法人の経営力向上を目指す。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受け の意向	
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積
認農法			0.1 ha		0.0 ha
認農		水稻・野菜	6.5 ha	水稻・野菜	1.0 ha
認農法		大豆・水稻	14.4 ha	大豆・水稻	2.0 ha
認農		水稻	0.5 ha	水稻	2.0 ha
		ブロッコリー・果樹	1.0 ha	ブロッコリー・果樹	1.0 ha
集			0.0 ha		0.0 ha
認農		ぶどう	0.0 ha	ぶどう	0.0 ha
			ha		ha
			ha		ha
			ha		ha
			ha		ha
計	7人		22.5 ha		6.0 ha

※属性が空欄の農業者は、『認就』終了後『認農』を志すもの

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用し中心経営体への貸借を進める。
